

令和7年度 山梨県立韮崎高等学校 第3回学校運営協議会 会議録

＜出席委員＞

定時制PETA会長	上野 政巳 (副会長)	山梨県立大学客員教授	輿水 達司
韮崎市財務政策課課長	根津 昭彦	本校元校長	赤岡 正毅
NPO 法人子育て支援センター ちびっこはうす理事長	内藤 香織	校長	小笠原 宏
教務主任	窪田 幸彦		

＜出席職員＞

教頭 (全日制)	大木 賢一	教頭 (定時制)	吉川 仁
事務長	小林 芳昭	生徒指導主事 (全日制)	小泉 圭二

＜欠席委員＞

同窓会副会長	岩下 和彦 (会長)	令和7年度PTA会長	福井 太一 (副会長)
韮崎市若宮自治会会長	横山美和子	地元企業役員	山田 七穂
韮崎東中学校校長	萩原 長人		

1 日時 令和8年2月12日 (金) 15:00～16:25

2 場所 山梨県立韮崎高等学校 視聴覚室

3 次第 (1) はじめの言葉 (全日制教頭) 司会：全日制教頭、記録：定時制教頭
 (2) 校長挨拶
 (3) 議事 議長：副会長

【報告】 ① 学校概況について (全・定)

全日制 (教頭) 全日制学校概況 (資料P1～P13) について説明

定時制 (教頭) 定時制学校概況 (資料P14～P15) について説明

② 令和7年度学校評価について (全・定)

全日制 (教頭) 全日制学校評価報告書 (資料P16) について説明

定時制 (教頭) 定時制学校評価報告書 (資料P17) について説明

【質疑・意見交換】

(委員) 定時制で技能検定や資格取得が本校の魅力になるとよい。

(委員) SSHというと自然科学のイメージがあるが、本校の文理科は文系と理系の両方が関わってくるので、人文科学や社会科学なども学びながら、地域づくりや社会貢献に携わってけるとよい。

(委員) 鹿児島科学研修というのがとても魅力的である。

(委員) 子育て支援センターに韮崎高校の生徒がボランティアに来ていただいております、とても感謝をしています。

(委員) ボランティア活動の取り組みが、就職や進学の際に評価されることが多くなっている。

(委員) 文武両道は素晴らしいことだと思う。全日制的アンケートの中で部活が負担になっている生徒も見受けられるが部活は自由参加か？

(校長) 部活は自由参加であるが、今年度部活の加入率は95%程度となっており、高い加入率となっている。

(委員) ICTの活用とは具体的にどのようなことか？

定時制 (教頭) 定時制ではTeamsというアプリを活用して、課題の配信・提出やチャット機能でやりとりを行っている。

全日制 (教頭) 全日制も同様にTeamsとともに、保護者との連絡等もBlendというアプリを効果的に活用している。

(委員) 学年ごとのカラーはあるか？

(校長) 様々なカラーがあるが、比較的良好な関係が保たれていると感じている。

(委員) 子育て支援センターは地域の子育て相談機関で、身近な相談を受けており、養育者の相談も受けることがある。先日、高校生の保護者から「いじめ」相談を受けたが、子供はその認識はない。保護者が子供の課題に入りすぎている部分がある。法的ないじめの定義とは、子供が心理的または物理的な影響を与える行為であって、その行為を受けた児童が心身の苦痛を感じているものであるが、そのことを学校、保護者や地域の関係機関等が共通理解をする必要がある。

(委員) 入学式や卒業式で、保護者が複数で参加することはあるか？

(校長) 今回の卒業式は日曜日ということもあり400人以上の保護者が参加をする。

(委員) 先日、SNSのなりすましによる被害に遭いそうになった。警察に相談したが、手口も巧妙化しているということで、先生方や生徒も気を付けるように注意喚起をお願いしたい。

【協議】 ① 令和8年度学校運営基本方針について

全日制(教頭) 全日制学校概況(資料P1～P13)について説明

定時制(教頭) 定時制学校概況(資料P14～P15)について説明

② 令和8年度年間行事予定について

全日制(教頭) 全日制学校評価報告書(資料P16)について説明

定時制(教頭) 定時制学校評価報告書(資料P17)について説明

③ SSH第IV期の申請について

【質疑・意見交換】

(委員) 行政としては、高校生に地元の課題解決に取り組んでいただくことで、地域の活性化に繋げていきたい。

(委員) SSHも様々な要望も増えてきていると思われるが、継続的な取り組みをお願いしたい。どうしても理数系の教員の負担が大きくなりがちだが、他の教科の教員や地域と連携する中で、学校全体と継続できる取り組みを期待する。

(委員) この夏、SSHの発表会に参加させていただいた。将棋頭の研究を科学的にしていってとても参考になった。また、七里岩が東洋一ということを知り興味が湧いた。地域の文化や歴史、財産を教育活動に活用できるとよいと思った。

(委員) 文理科なのでSSHも自然科学を土台にして、そこから人文的な価値につなげるような教科横断的な取り組みができると、文理科がある韮崎高校の位置づけが全国でも貴重なものになるのではないか。この地域には研究をするための宝がたくさんある。地域との連携により、教育の質が高まると考える。

(委員) かつて、県内の高校に理数科を設置する際、その設置委員会内でOBの方が理系の生徒でも国語力の向上が必須だという提案をしたことという経緯を耳にしたことがある。

報告・協議事項について、原案通り承認

④ その他

質疑応答・意見交換 特になし

(4) 緒連絡(全日制教頭)

- ・来年度の日程について
- ・来年度の委員について
- ・その他・・・第2回学校運営協議会議事録について

(5) おわりの言葉(全日制教頭)